

第1回 野外薬用植物観察会

作成者：創薬・生命薬科学科 1年 石橋、辻(美)
薬学科 1年 石田、坂田

概要

08年11月25日(火)に矢原先生引率のもと熊本大学裏の立田山で薬用植物の観察会が行われました。自然と親しみながら**薬学と環境との関連**や**自然保護の必要性**などを体感し、その道中で落ちていた**ゴミを拾いました**。

観察コース

大教センター玄関→森林総合研究所九州支所→樹木園→樹木林→冬の森→キハダの森→葉書の木[タラヨウ]→大教センター玄関



カツラ (カツラ科)
綿菓子のような甘い香りがします。葉はハートの形をしています。



タラヨウ (モチノキ科)【左、下】
葉書の木で、葉の表面に箸で字を書き、しばらくすると黒く浮かび上がります。
アオキ (ミズキ科)【右】
タラヨウと同様に字が書けます。タラヨウより葉は薄く破れやすいです。



ヘクソカズラ (アカネ科)
効能は利尿、止瀉、ひび、しもやけ。でも臭い。



トチュウ (トチュウ科)
タラヨウと同様に字が書けるが、すぐ破れて書きにくい。ゴムの含まれているので、葉を丸めてもすぐ元に戻る。



昨年と今年とのタネ
ブラッシノキ (フトモモ科)
雄ずいが試験管ブラシに似ている。



アセビ (ツツジ科)
草食動物には有毒。茎、葉が殺虫、害虫駆除



キハダ (ミカン科)
樹皮(内皮)が下痢止め、打撲傷、健胃に効果がある。でも苦い



カラスウリ (ウリ科)
中にカマキリの顔によく似たタネが入っている。根、種子に利尿、浄血の作用。



サザンカ (ツバキ科)
種子が軟膏の原料になる。葉に毛があるのはサザンカで、ないのがツバキ。

～感想～

・今回が初めての取り組みということで、どのような企画になるのか楽しみにしていました。周りの友達の中には参加を迷っていた人もいましたが、個人的には有益な時間を過ごせ、参加がよかったと思っています。各草木に関して矢原先生に詳しく解説していただき、生薬学の知識にもつながる話を聞くこともでき、とても楽しく散策することができました。人数的にも、今回くらいの参加者数であれば行動しやすく、ベストだと思います。場所としては今回のような立田山に限らず、将来的には阿蘇や人吉などへ繰り出し、熊本の持つ自然を肌で感じながら散策するのも魅力的ではないでしょうか。
現在、白崎先生をはじめとして取り組んでおられる「エコファーマーを担う薬学人育成プログラム」は僕にとってとても魅力的で、これからどのような企画が提案されるか楽しみにしています。この取り組みが、僕たちの就職時のキャリアにプラスに働けばベストですが、そうでなくても自然に触れる課外授業は僕たち薬学生にとってもたいせつなことだと思います。 By T.T.

・私は薬用植物観察会に参加して、人間と自然との密接な関わり合いを感じました。昔の人は薬用植物をうまく利用して生きてきました。例えば、ナンテンには殺菌・抗菌作用があり、よくおせちの上に飾られています。それは、お祝い事の時に食中毒などを起こすと縁起が悪いからです。ほかに身近な例としては、バランがあげられます。お弁当のおかずのしきりとしてよく用いられたギザギザした葉っぱです。バランにも殺菌・抗菌作用があるため、私たちは安心しておいしくお弁当を食べることができます。このようなお話がいろいろ聞くと、自然と共に生きてきたからこそ身に付いた昔の人の知恵、気遣いが見て取れたような気がします。
現代の人々は、どうしてナンテンがおせちのうえにのっているのか、バランがお弁当のしきりとして使われているのかの理由にも、その植物の名前にさえも興味を持たなくなっているのではないかと考えます。実際のところ、私もなぜその植物がそこにあるのか、については今まで知りませんでした。
しかし、今回薬用植物観察会に参加し、このようなお話をたくさん聞き、植物を使って遊ぶことで、自然により興味を持つようになりました。より多くの人が自然により興味を持つようになれば、自然に対して優しくなれ、この環境を崩したくない、未来の子供たちのために守りたい、という気持ちを持つようになるのではないかと、私は思います。 By M.I.

- ・薬草について解説している先生たちを見ると、本当に楽しそうに話していました。これが、自分の好きなことを仕事にすることなのかと思いました。 By K.Y
- ・季節の移り変わりというものと一緒に味わうことができ、薬草や樹木に対する興味がこれをきっかけに一段と増したのがこの体験の一番の成果だと思います。 By M.I
- ・すぐ側にある植物たちが様々な形をして、香りを持っていると知り、その面白さを知ることができました。また、今回の観察会で周りの植物を見る目が変わったように思います。植物に対する意識が変わっただけでも十分な収穫であったと思うので、参加してとてもよかったです。 By M.T
- ・大学生活の中で、このような自然環境に触れる課外授業はあまりないと思うので、今回のこの活動は貴重な体験になりました。 By T.S.
- ・植物というものは大昔から薬として多くのものが利用されてきたものです。大昔から続くこの智慧はこれからもずっと使っていけるものだと思います。 By A.K.
- ・資料には私たちが生活していく中で、何気なく視界に入ってくるような植物が食べることができたり、それぞれ薬効を持っていたりと、自分が知らなかった植物についての知識がたくさん載っていて、とても参考になりました。 By K.K.
- ・今回の体験を通して、エコファーマーを目指すために具体的に何をすればよいかははっきりとはわかりませんが、身の回りの植物、自然に触れ、知ろうとすることが大切なのではないかと思いました。 By T.O.
- ・先生方がおっしゃったように、机の上で勉強したり、インターネットで調べたりするだけではわからないことがたくさんあります。今回は学部内でのイベントであったが、自分でこういう体験をしてみたいと思いました。 By N.A.
- ・この観察会を通じて薬用植物を知ることができました。とても楽しく有意義なものだったと思います。ここで見たもの以外にもまだまだたくさんの効能を持った植物があります。これから先もっと多くの植物のことを覚えていけたらと思います。また、同じようなものがあったら参加したいと思いました。 By M.S.



講師： 矢原正治(薬用植物学)、佐藤千芳(熊本植物研究所)、白崎哲哉(環境分子保健学)
参加者： 石橋、辻(美)、橋本、森岡、谷口、篠原、久木田、山口、阿部、木戸、井上、北、寺田、追、坂田、福田、小笹、今村、酒匂、濱口、川邊、如田、坂井、鬼塚、石田、吉崎、新留、福永、宮野、那須、本田、デブコタ、渡辺